


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立水元小合学園		肢体不自由・知的障害	基	通学区域 就業技術科:都内全域、肢体不自由教育部門:葛飾区内京成押上線以北
	校訓「日々前進」「毎日真心」 One Day One Plus+				進路実績 就業技術科:企業内定100% 肢体不自由教育部門(高等部):福祉施設通所100%
基	所在地	〒125-0032 葛飾区水元一丁目24番1号	電話番号 03-5699-0141	本	教育課程の特徴
	アクセス	(1) JR常磐線金町駅から京成バス西水元三丁目行きふれあいの家下車すぐ (2) JR亀有駅から東武バス水元総合スポーツセンター行き終点下車徒歩3分 (3) JR綾瀬駅から東武バス水元総合スポーツセンター行き終点下車徒歩3分			
本	設置学部	知的障害教育部門:高等部就業技術科 肢体不自由教育部門:小学部・中学部・高等部		情	副籍実施状況 小・中学部在籍44名中直接交流実施15名(平成30年度実績)
	幼児・児童生徒数	就業技術科:233名 肢体不自由教育部門:52名(小学部35名、中学部8名、高等部9名)			
報	学級数	就業技術科:24学級 肢体不自由教育部門:17学級(小学部11学級、中学部3学級、高等部3学級)		報	学校評価
	スクールバス	7台(中型7台) 医療的ケア通学専用車両(マイクロ車2台)			
その他					ホームページ http://www.mizumotokoai-sh.metro.tokyo.jp

目指す学校 共生社会の実現に向けて、日本のインクルーシブ教育システム構築を推進する新たな特別支援教育の創造と発展に努めます。児童・生徒の可能性を信じて、最大限に伸ばし、一人一人の夢や願いを実現し、将来はそれぞれの役割等に応じて、周りの人や社会に貢献できる人を育てます。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	児童・生徒一人一人の可能性を追求し最大限に伸ばす学校 【就業技術科】 職業に関する専門教科と各教科等を関連させた指導内容の充実 【肢体不自由教育部門】 自立活動の指導充実、各教科等・基礎的認知学習・健康の保持増進等の個に応じた持続可能な指導・支援の追求	【就業技術科】普通教科では、実用英語検定、日本漢字能力検定の受検、職業に関する専門教科では、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定、フォークリフト特別教育、ビルクリーニング技能検定3級、全国高等学校家庭科食物調理技術検定4級など、一人につき2.2個の資格や検定等を取得している。普通教科と専門教科等を関連させ、社会生活に必要な幅広い知識を身に付けるとともに、職業生活に必要な能力や態度を身に付けている。 【肢体不自由教育部門】10職種18名の外部専門員(理学療法士、作業療法士、視能訓練士、心理士等)を活用して、各種教育計画、授業評価、ケース会議を年間を通じて実施した。個別指導計画を実態分析に応じた内容に改善する取組に着手した。切れ目ない支援の実現のため、就学前施設と卒業後施設との連携を強化して、各種支援シートを活用した情報共有を進めている。	
目標②	児童・生徒が「日々前進」し、未来を開くための力を付ける学校 【就業技術科】 自尊感情測定尺度を基に自尊感情の傾向把握と自己肯定感の育成 【肢体不自由教育部門】 知的代替児童・生徒の作業学習の授業開発	【就業技術科】自己肯定感の育成を図るため、生徒会活動をはじめ、生徒の主体的な活動を多く盛り込んできた。11月2日「東京都教育の日」では、生徒によるオリンピック・パラリンピック教育の推進についての事例報告、「高校生等ボランティアサミット」でのグループ協議への参加、都立学校魅力PR動画「まなびゅ〜」5作品制作(最優秀賞受賞)など、ボランティアマインドの醸成を通して、生徒たちの成長が多く見られた。 【肢体不自由教育部門】中学部・高等部で、手作業モノづくりの取組を少なくした、業務進行管理・接遇等のコミュニケーション・ICT機器や支援機器活用の学習体験を柱とした作業学習を開発した。小学部高学年からの公共交通機関を活用した社会参加や、学部間の進学に向けた取り組みを組織化し、3学部をつながりのあるキャリア教育や教科横断を促進している。	
目標③	児童・生徒の「毎日真心」の気持ちや思いやりの心を育てる学校 【就業技術科】 きめこまかな登校支援と出席率の向上及び第一・第二期生のアフターケアの充実 【肢体不自由教育部門】 就学・進級・進学・卒業時の移行支援の充実	【就業技術科】今年度より、支援部を設置し、登校支援や校内支援会議の充実を図り、きめ細かな支援を行ってきた。担当主幹、学年主任、学年コーディネーター、生活指導主任が、週1回ランチミーティングを実施し、生徒ケースについて共通理解を図りながら、支援方針を統一化してきた。企画調整会議にて確認し、平均して出席率が90%を超え、出席率が向上した。卒業生の定着率は、第1期生94.3%、第2期生93.3%である。 【肢体不自由教育部門】就学については、就学前施設とのケース引継ぎを各ケースごとに計画実施した。進級進学については各学部の支援部進路指導担当と担任が組織的に進級進学指導を行い、課題や支援の切れ目ない継続、重点化・焦点化には外部専門員活用も進めて、キャリア教育が充実してきた。高等部卒業後のアフターケアについては一期生全員への巡回を実施した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	(就)企業就労100% (肢)生徒が希望する進路選択実現100%			100	100	100	100	100	100			
目標②	両部門併置のメリットを生かした教育の実施に関する満足度の向上(肯定的評価80%以上)							80	71.2			
目標③	学校公開(両部門)、就業技術科学科説明会、肢体不自由教育部門等の来校者数確保					1750	1900	1500	1800			